

令和5年度秋季 議会報告会実施報告書

○令和5年11月10日（金）

- 1班 小浜地区 (P1 ~ P2)
- 2班 加斗地区 (P3 ~ P4)
- 3班 遠敷地区 (P5 ~ P6)
- 4班 国富地区 (P7)

○令和5年11月15日（水）

- 1班 中名田地区 (P8 ~ P9)
- 2班 雲浜地区 (P10 ~ P12)
- 3班 内外海地区 (P13 ~ P15)
- 4班 今富地区 (P16 ~ P17)

○令和5年11月22日（水）

- 1班 西津地区 (P18 ~ P19)
- 2班 口名田地区 (P20 ~ P22)
- 3班 松永地区 (P23 ~ P24)
- 4班 宮川地区 (P25 ~ P26)

会場：各地区のコミュニティセンター

※重複する質問・回答、議員個人の意見については、省略しています。

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	令和5年11月10日(金) 19:30~21:00		
会場/地区	小浜コミュニティセンター		
出席議員	1班/富永芳夫、池田英之、藤田靖人、東野浩和、浦谷梨華子		
参加者(市民)	36名		
報告事項	司会・班長：藤田靖人 報告者：(定例会報告) 浦谷梨華子、(北陸新幹線について) 富永芳夫 書記：東野浩和		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	ひとり親家庭習い事支援事業の報告があったが、ひとり親家庭に限らず、中学校の部活動の地域移行について、多くの子供がいる家庭にとっては費用上の負担が増すのではと考える。議会において、その点についての進め方の検討および調査、市に対する提言はしているのか。	【今後の対応】 回答どおり
	回答	地域移行については初期の段階であり、深い議論には至っていないが、今後は状況を見ながら問題点を集約し、議論していくことになる。	
	質問	学校給食について、昨年度、議会のほうで調査されたわけだが、無償化および職員不足についてはどのような経過をたどっているのか。	回答どおり
	回答	無償化について、すぐにとというのは厳しい状況である。調理員不足については募集をかけてもなかなか集まらないという現状の中、センター方式も含めた議論を行ったところであるが、結論には至っていない。	
	質問	請願・陳情の件について、委員会にどのような経緯でこういったものが出されたのか。また、賛成意見、反対意見が書かれているが、採択結果はどうだったのか。	回答どおり
	回答	請願というのは、憲法で保障されている国民の権利であるため、どのような内容のものでも議会に上程しなければならない。しかし、市議会レベルの権限を越えた、国に対する意見書への同調を求める請願が多々ある。我々はあくまでも住民福祉の観点から議会運営をしているものであり、その目的に即した請願提出を望んでいる。 今回説明した請願・陳情の採択結果は以下のとおりである。 ・日本政府に「核兵器禁止条約」への参加・署名・批准を求める意見書の提出に関する請願 (不採択) ・保育士配置の最低基準の引き上げと、保育予算の大幅な	

		<p>増額を求める意見書の採択を求める陳情（採択）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書を国に提出するよう求める請願（不採択） ・健康保険証廃止の中止を求める意見書を国に提出することを求める請願（不採択）以上である。 	
	質問	北陸新幹線の経済効果について、市議会としてどの程度の認識があるのか。大きな経済効果とは、どういうものをイメージしているのか。	
	回答	新幹線が通ると通らないとでは格段の差があると考えますが、今はまだ敦賀開業もされていない段階で、今後の全線開業にも15年程度はかかるであろうと見込まれる。日本の経済も相当変わると予測される中、これから皆さんのご協力を得て、つくり上げていくものと考えます。また、おおむねのイメージは「北陸新幹線全線開業を活かした小浜市新まちづくり構想」に描かれている。	回答どおり
	質問	北陸新幹線全線開業に向けて、議会として毎年のように中央要望されているが、何よりも地元・沿線の盛り上がりが必要と考えます。そこで、南丹市や京都市など、沿線の議会同士の協力関係はどのようなものか。	
	回答	北陸新幹線全線開業は、関西圏においても非常に重要なものとして、北陸新幹線建設促進同盟会の協力は大きなものになってきている。また、本市の議長、副議長および新幹線特別委員会の委員長、副委員長においても相手方の議長をはじめ、いろいろと意見交換をしており、その感触は以前より良くなってきている。	回答どおり
	質問	ふれあいスクール事業について、今の中央公民館にある体制は、今後どこに移るのか。また、受入れ状況が満杯ということも聞くが、現状の2名の職員体制で十分な対応ができるのか。	
	回答	どこに移るのかは、現状、はっきり把握していない。また、現場における内容は、非常にデリケートでプライバシーに関わることでもあり、この点についても把握しきれていないが、今後議会でもテーマに上げ、市に問い合わせ、ご報告する。	<u>行政に伝える</u> <u>(回答を求める)</u>

令和5年12月22日

小浜市議会議長 様

第1班 班長 藤田 靖人

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	令和5年11月10日(金) 19:30~21:00		
会場/地区	加斗コミュニティセンター		
出席議員	2班/下中雅之、竹本雅之、川代雅和、佐野達也		
参加者(市民)	10名		
報告事項	司会・班長：竹本雅之 報告者：(定例会報告)川代雅和、(北陸新幹線について)下中雅之 書記：佐野達也		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	なぜ今のものより大きい健康管理センターが必要なのか。	【今後の対応】 回答どおり
	回答	新健康管理センターでは、幼児から高齢者まで切れ目ない支援を一体的に提供するほか、4階では新たに指定管理者による体力づくり(健康体操)のサービスなど機能の充実を図るために、それ相応の規模が必要である。	
	質問	資料2「小浜市健康管理センター(4階部)の指定管理者の指定について」において、指定管理者の候補者からの収支計画で、令和9年度の年間平均稼働率の目標を80%と設定しているが達成できるのか。	回答どおり
	回答	達成率については、議会としてチェックしていく。	
	質問	新健康管理センターは窓ガラスが多い構造だが、その分強度の補強や冷暖房に経費がかかるのでは。	回答どおり
	回答	建物の強度については、計算された上での設計である。エアコンは性能が上がっているが、建物が大きくなればランニングコストはかさむ。しかし、それに見合う稼働率であればよいと考える。	
	質問	新健康管理センターの規模を縮小し、道路整備等に予算をつけてはどうか。	回答どおり
	回答	新健康管理センターに多くの職員を配置し、市民サービスの向上と業務の効率化を図るため、設備を整えた建物が必要であるのご理解いただきたい。	
質問	資料2「電気・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付事業」において、3,100世帯が住民税非課税世帯等となっているが、これほど多いのか。	回答どおり	
回答	令和4年度の緊急支援事業では、住民税が非課税であっても被扶養者である場合は給付対象にはならなかったため		

	2,485世帯であったが、今年度は住民税非課税の被扶養者を対象に含めたため、3,100世帯を見込んだものである。	
質問	市議会議員と話す機会は少なく、地区要望等の同伴もなくなったが、他地区はどのようにしているか。	
回答	多くの皆様からご意見を頂くため、年2回の議会報告会を開催している。地区要望等の同伴については、各地区区長やまちづくり協議会の考え方によると思う。	回答どおり
質問	北陸新幹線のルート変更の声を聞くが、実際はどうか。	
回答	新聞などでそのような報道がなされているが、ルートが変わることはない。	回答どおり
質問	斎場の計画はどうか。	
回答	若狭広域行政事務組合にて検討を進めているが、現状では場所等はまだ決まっていない。	回答どおり
質問	行政間の連携はできているのか。	
回答	首長間では連携しており、行政レベルでは深くつながっている。議会は近隣の市町と総合振興協議会を設立し、相互に共通する課題について協議している。	回答どおり
質問	サバの養殖がうまくいっていないが、いけすを沖に移すなどの工夫をしてはどうか。	
回答	技術的なことなどはわからないので、担当課に伝える。	行政に伝える (回答は求めない)
質問	エンゼルラインを有効に使っていく計画はないのか。	
回答	イベント等の開催など、年間を通じて活性化するよう担当課に伝える。	<u>行政に伝える</u> <u>(回答を求める)</u>
質問	老朽化が進んでいる文化会館の建て替え予定はあるのか。	
回答	市に、公共施設の個別施設計画に関する「小浜市公共施設個別施設計画検討会議」が設置された。文化会館を含む全公共施設の建て替え等は、この検討会議の中で検討されていく。	回答どおり

令和5年12月25日

小浜市議会議員 様

第2班 班長 竹本 雅之

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	令和5年11月10日(金) 19:30~21:00		
会場/地区	遠敷コミュニティセンター		
出席議員	3班/今井伸治、岡泰宏、杉本和範、上野一		
参加者(市民)	23名		
報告事項	司会・班長：杉本和範 報告者：(定例会報告) 上野一、(北陸新幹線について) 今井伸治 書記：上野一、杉本和範		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	新幹線効果について、小浜に来ると利便性が向上するが、県外に出ていく市民も増えるのではないかと。	【今後の対応】 回答どおり
	回答	当然出入りはあるが、小浜・京阪神間のビジネス移動の手段となり、民間の設備投資の増加や通院・通勤圏内になることも期待され、得るものが多いと見込んでいる。	
	質問	観光面の情報の発信はしているのか。	回答どおり
	回答	市としても情報発信はしているが、新幹線開通に向けて小浜の魅力を更に発信していくべきと考えている。	
	質問	舞鶴若狭自動車道の4車線化の進捗状況は。	行政に伝える (回答は求めない)
	回答	舞鶴東IC・小浜IC間の一部で既に事業化されており、福井県内の残りの区間においても順次着手できるよう要望する。	
	質問	ふるさと未来づくり協働推進事業の予算について、インセンティブを付けるに当たり、評価方法など具体的な内容はどうか。	回答どおり
	回答	小浜市の財政は厳しく、来年度予算も政策的経費を5%カットする計画である。約2,100万円の金額を各地区で取り合ってはいけないので、理事者にはインセンティブなどの評価の中身を明確にするなど十分な精査が必要であると伝えたい。	
質問	保育士の配置基準の見直しと処遇改善を求める意見書は、保育士の給料の増額に関するものだと思うが、介護関係についてはどう考えているのか。	行政に伝える (回答は求めない)	
回答	介護関係は、ケアマネジャーの人数(プラン数)や資格の有無で補助額が変わる。小浜市では介護施設は増えないと聞いているが、介護事業所を増やせば介護保険料にはね返ってくる。財源については難しい問題だが、ご意見として伝える。		

質問 回答	新幹線開通後の小浜市内の2次交通はどうなるのか。 観光地への移動手段が限られ、現在もタクシードライバーが不足している。あいあいバスも利用者が少なく、1億円前後の赤字の中経営している。デマンド交通という手段も運営コスト等も踏まえながら来年度以降も考えていかなければいけない。現在は県内の永平寺町などが実施している。	回答どおり
質問 回答	モビリティ実験等も含め、免許返納後の交通手段の確保についてはどうか。 まち歩き観光など2次交通と生活面での利便性の観点で、今回の電動モビリティ実証実験を行った。この実証実験の結果を踏まえ、今後検証していくことになる。市民の足に使えるよう、低額な料金での貸出しなどを要望していく。	<u>行政に伝える</u> <u>(回答を求める)</u>
質問 回答	小学校の統廃合問題について、これからの市の統合計画はどのようなものか。また、旧遠敷小学校の解体は地区の総意であるが、どのような計画になっているのか。 小浜美郷小学校の次は今富・中名田・口名田の統合を計画していたが、小浜美郷小学校で経費がかかり過ぎたため、現在ストップしている。しかし、方針は変えていない。廃校の利活用や解体は、地域の要望と解体費用を考慮し検討していると聞いている。旧遠敷小学校の解体が地区総意であることは理事者に伝える。	<u>行政に伝える</u> <u>(回答を求める)</u>
質問 回答	小浜美郷小学校のスクールバス運営経費の状況は。 国からの交付金が令和5年度で終わり、6年度から小浜市の負担が増える見込みである。	回答どおり
質問 回答	美浜町では今年度からチョイソコという乗り合いバスが運行されている。30分前からインターネットや電話で予約すると自宅などに迎えに来てくれるサービス。体の不自由な方、高齢者のために、小浜市もこのようなサービスを考えてはどうか。 永平寺町では地域限定で自宅と目的地との間の送迎をしている。小浜市の利用者にとって一番適切な方法などを、コストも勘案して提案していきたい。	行政に伝える (回答は求めない)

令和5年12月22日

小浜市議会議長 様

第3班 班長 杉本 和範

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	令和5年11月10日(金) 19:30~20:15		
会場/地区	国富コミュニティセンター		
出席議員	4班/池尾正彦、牧岡輝雄、小澤長純、世戸玉枝		
参加者(市民)	22名		
報告事項	司会・班長：池尾正彦 報告者：(定例会報告) 牧岡輝雄、(北陸新幹線について) 小澤長純 書記：世戸玉枝		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	新幹線駅について、駅位置が発表されたときの市としての施設の誘致や構想など考えを聞かせていただきたい。	【今後の対応】 回答どおり
	回答	早く駅位置が決まらないことには、その先のことに進んでいけないという状況にある。令和7年度の春には着工をしてほしいということを強く要望していきたいと思っている。	
	質問	新幹線駅周辺のまちづくりの構想はどこまで出来ているのか。	回答どおり
	回答	越前市は、新幹線の駅周辺を開発するため、約10年の期間の計画を作成している。企業誘致については、住民の理解が得られないと前に進まないため、まちづくり協議会や区長等からの意見を地域の中で積み上げ、様々な課題に取り組んだと聞いている。本市でも同様の形で計画していくものと考えている。	

令和5年12月17日

小浜市議会議長 様

第4班 班長 池尾 正彦

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	令和5年11月15日(水) 19:30~21:00		
会場/地区	中名田コミュニティセンター		
出席議員	1班/富永芳夫、池田英之、藤田靖人、東野浩和、浦谷梨華子		
参加者(市民)	15名		
報告事項	司会・班長：藤田靖人 報告者：(定例会報告) 浦谷梨華子、(北陸新幹線について) 富永芳夫 書記：東野浩和		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	北陸新幹線について、沿線の京都府や大阪府の環境問題が懸念されているが、この問題の解決に当たっては、本市も含めた広域連携による検討が必要と考える。市議会レベルでの検討会などを進めているのか。	【今後の対応】 回答どおり
	回答	市議会では3年前から議長、副議長および特別委員会の委員長、副委員長が京都市会を訪ねて考えをしっかりと伝えており、以前よりは理解を深めていただいている状況である。今後も一層の連携強化を図れるように活動していく。	
	質問	空き家対策について、漏電による火災や、解体に対する補助金、相続人の責任問題、野生動物のすみ着き、地域の事情の違いによる対処の優先順位など様々な問題が心配されているが、今後どんどん空き家が増えてくる中、どのように考えているのか。	回答どおり
	回答	市議会では、総務民生常任委員会が令和4年度の所管事務調査において相当緻密な提言を出しており、ホームページにも掲載しているので、まずは一度お目を通していただきたい。難しい問題ではあるが、議会としても法改正と併せて一步一步しっかりと取り組んでいく。	
	質問	議員のなり手不足について、議会改革も含めてどのように考えているのか。	回答どおり
	回答	市議会では、平成25年から議会基本条例を施行し、積極的に議会改革を進めてきた。近年の様々な所管事務調査をはじめ、市民の皆様に関心を持っていただくため、議会の見える化にも努めてきた。この件については、今後もいろいろな方策を考え、努力していかなければならないが、新しいことを始めるときの財源の問題や理事者側との調整など、議会側だけでは困難なこともある。今後も一生懸命議会改革を進めていくので、お気づきの点があれば議会事務	

		局へ届けていただきたい。また、議員のなり手不足に対しては、若い人が立候補しやすい環境づくりが必要と考えており、特に報酬や年金など、生活面での安定についての議論が必要と考えている。	
	質問	本会議における一般質問について、シナリオどおりの質問・答弁で、見ようという気持ちになれない。もう少し工夫できないか。	
	回答	そのように見られていることは、非常に辛いところではあるが、議員側の質問に理事者側が誠実に答えるには、やはりある程度、議員側の考えている視点はどのようなものかを理事者側が理解しておく必要がある。そのための打合せは行うが、そのような中でも、議員としては自分の考えをうまく理事者側に伝える能力を磨いていくことが重要であると考えている。	回答どおり
	質問	小浜よっぱらいサバの養殖事業で、近年大量死しているが、今後の対応はどうするのか。	
	回答	この事業は、日本遺産認定にまつわる事業の一つであり、今後も継続していくものであるが、近年の海水温の上昇の問題や種苗の不足の問題など、今後県立大学などの関係機関と連携しながら問題解決に当たっていくと聞いている。	回答どおり
	質問	その他、議会側で何か深刻と思われる事案はあるか。	
	回答	区長をはじめ、地区の防災委員、民生委員やひとり暮らし老人相談員などの「なり手不足」、また北陸新幹線敦賀開業後の観光推進におけるタクシードライバーなどの「人手不足」など、地域を支えていく上での「なり手不足」「人手不足」は深刻な事案と考えている。	回答どおり

令和5年12月22日

小浜市議会議長 様

第1班 班長 藤田 靖人

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	令和5年11月15日(水) 19:30~21:00		
会場/地区	雲浜コミュニティセンター		
出席議員	2班/下中雅之、竹本雅之、川代雅和、佐野達也		
参加者(市民)	13名		
報告事項	司会・班長：竹本雅之 報告者：(定例会報告)川代雅和、(北陸新幹線について)下中雅之 書記：佐野達也		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	市内の多くの方が電力関係の仕事に携わっているのに、東日本大震災の後、市議会が全会一致で「原子力発電からの脱却を求める意見書」を出したのはなぜか。	【今後の対応】 回答どおり
	回答	嶺南地域の原発立地自治体では安全協定が結ばれていたが、小浜市は大飯発電所に近いにも関わらず立地自治体並みの安全協定が結ばれていなかった。政治的な観点から協定を引き出すことが、市民の安全を担保することにつながると考え意見書を出した。	
	質問	(テレビ東京系列の放映について)チャンネル0の受信チャンネル数を増やすことはできないか。	<u>行政に伝える</u> <u>(回答を求める)</u>
	回答	受信料に関わることなので、チャンネル0に問い合わせる。	
	質問	小浜に限らないと思うが、地方議員のなり手が少ない状況をどのように捉えているのか。	回答どおり
	回答	議員のなり手不足の理由の一つに、報酬額が低いことが挙げられる。また、以前あった議員年金も廃止された。議員の活動が見えないという声に対しては、年2回開催している議会報告会への参加、委員会や本会議の傍聴を呼びかけている。小浜市を良くしたいという議員の志を市民に伝えられるよう努力をしている。	
	質問	定数を減らして報酬を上げれば良いのでは。	回答どおり
	回答	予算の適正な執行や条例の内容等をしっかりチェックするにはある程度の人数が必要であり、定数を減らすことに関しては慎重に検討しなければならないと考えている。	
質問	理事者側から出てくる議案に対し、修正等はあるのか。	回答どおり	
回答	今まで件数は多くはないが、予算執行に対して条件を付け		

		る附帯決議を出している。	
質問		理事者の議案がおおむね原案どおり承認されている。理事者と議会のベクトルは合っていると理解してよいか。	
回答		議会が審査の段階で数字の根拠や事業の内容を審査することで、理事者がしっかりとした内容の事業を上げてくるよう常に監視している。	回答どおり
質問		若い人が働く職場がないことが大きな問題だが、産業団地を整備するなどの考えはあるのか。	
回答		企業誘致を市長がトップセールスで行っているが、働く人材の確保ができない地域には企業は来てくれないと思われるので、企業とのマッチングを図り、できる限り進めていってもらう。	回答どおり
質問		移住対策などは考えているのか。	
回答		市は「おばまで暮らそ！！」という事業を実施している。また新幹線が関西圏とつながれば、小浜に住んで通勤・通学が可能になる。土地代が高い都市部より小浜に家建てて新幹線を通う。このような構想が実現するように取り組んでいる。	回答どおり
質問		大手橋、西津橋の改修工事の影響で、通勤時間帯は西津とこのとり大橋との間の道路が大渋滞しているが、降雪時の対策は。	
回答		国道 162 号については、今までは積雪が 10 cm で除雪車が出動することになっていたが、5 cm で除雪車が出動することになった。	回答どおり
質問		敦賀市はふるさと納税の額を大きく伸ばしているが、小浜市はどうか。	
回答		小浜市も返礼品のパッケージを工夫したり、高級感を出したりと懸命に取り組んでいるが、10 月から制度が変わり、年々厳しくなってきたのが現状である。	回答どおり
質問		追加でゴミ集積所を設けるのに補助金はあるのか。	
回答		まちづくり協議会には小浜市から交付金が出ているので、まちづくり協議会で対応してほしい。	回答どおり
質問		市指定の可燃ゴミの袋をもっと丈夫なものにできないか。	
回答		分厚くするとその分ゴミ袋の代金に反映されるため、破れ	行政に伝える

		ないように工夫をお願いしたい。	(回答は求めない)
	質問	斎場の計画はどうなっているのか。早く方向性を示してほしい。	
	回答	若狭広域行政事務組合で協議しているが、場所や時期については未定である。議会としても早期実現に向けて努力する。	行政に伝える (回答は求めない)

令和5年12月25日

小浜市議会議長 様

第2班 班長 竹本 雅之

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	令和5年11月15日(水) 19:30~21:00		
会場/地区	内外海コミュニティセンター		
出席議員	3班/今井伸治、岡泰宏、杉本和範、上野一		
参加者(市民)	13名		
報告事項	<p>司会・班長：杉本和範</p> <p>報告者：(定例会報告) 上野一、(北陸新幹線について) 今井伸治</p> <p>書記：上野一、杉本和範</p>		
<p>報告会における市民からの意見・要望内容</p>	質問	議会報告会のメンバーに地元議員がいない理由はあるのか。	<p>【今後の対応】</p> <p>回答どおり</p> <p>行政に伝える (回答は求めない)</p> <p>回答どおり</p> <p>回答どおり</p>
	回答	特段の理由はないが、議員の中でも地区要望の内容など地元を理解している議員がいたほうが良いという意見もある。要望として承った。	
	質問	コミュニティセンター化してから、議会として現場のヒアリングをしているのか。ふるさと未来づくり事業では、各地区に200万円ほどが交付されているが、コミュニティー活動従事者からすると今後の方向性がわかりにくい。どう伝えていくのか。	
	回答	議会として現場のヒアリングは行っていない。コミュニティセンター化から1年経過するが、行政として様々検証していく。この事業については、同様の意見が他地区でもあった。従事者に分かりやすく伝えられるよう、より一層注力するよう伝える。	
	質問	福井県立大の堅海キャンパスが出来、今後新たに100人近い学生が小浜市に来る。食べる所、泊まる所、交通インフラの整備に対して議会としての対応はどうなっているのか。また経済効果について議会と市民とで話し合う場を持ってほしい。	
回答	交通インフラについては、あいあいバス等の交通機関の充実が必要である。しかし、あいあいバスは毎年約1億円の赤字を計上しており、市民と一体となって考えなければならない。議会としてこの課題は取り上げていないため、県・市とも協議していきたい。また、市民と議会の話し合いも提案していく。		
質問	日本政府に「核兵器禁止条約」への参加・署名・批准を求める意見書の提出に関する請願書とあるが、採択されたのか。	<p>回答どおり</p>	
回答	この請願は、反対多数で不採択とした。採決結果については、議会だよりに掲載している。		

質問	消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書を国に提出するよう求める請願と健康保険証廃止の中止を求める意見書を国に提出することを求める請願は採択されたのか。	
回答	両請願とも反対多数で不採択とした。請願や陳情の賛否に関しては、毎回議会だよりに掲載している。	回答どおり
質問	新幹線は令和7年度当初までの着工を求めているとのことだが、もともとの計画での完成時期はいつになっていたのか。	
回答	昭和48年の当初計画では小浜付近を通り新大阪へつなげるルートのみを決定しており、完成時期までは決まっていない。上越新幹線、東北新幹線の整備が終わり、ようやく北陸新幹線の整備となった。北陸新幹線は、東海道新幹線の代替機能も果たす国土強靱化の意味合いもあるため、令和5年度当初に着工することを与党PTにおいて決議していたが、新型コロナウイルス感染症や京都府内の一部で環境影響評価が遅延したことも影響し実現しなかった。このことを踏まえ、議会として「一日も早い全線開業を」と要望しており、令和7年度当初までに着工するよう働きかけている。	回答どおり
質問	「令和7年度当初までの着工」には根拠があるのか。	
回答	政府の「令和5年度当初の着工」の明記がいつの間にか消え、その後は期日の記載が消えた。「令和7年度当初までに」と期日を入れたのは、市議会としての強い意志表明である。	回答どおり
質問	京都府や大阪府も「令和7年度当初までの着工」を目標にしているのか。	
回答	市議会が示している目標である。工事期間は15年かかると言われているが、財源を確保できれば工期を短縮できると考えているので、力強く早期着工、早期全線開業を訴えていく。	回答どおり
議員	西小川トンネルの整備について、議会ではどのような状況か。	
回答	国が認めて事業に着手しているが、現状はトンネル本体ではなく測量の段階でゆっくりと進行している。国の予算もかなり入るが、市においても財源を確保しなければならない。	回答どおり
質問	議員の活動報告はされているか。議員のアピールを個々ですべきではないか。	
回答	議員個人としての活動と議会活動とは分かれており、議員個人で出す活動報告に関しては出さないといけない義務はなく、個々に委ねられている。議会としては、令和5年6月から	回答どおり

	広報推進特別委員会を設け、発信の方法の多様化も検討している。また、委員会や本議会も公開しており、今回のような議会報告会や議会だよりの発行が議会としての活動報告を担っている。	
--	--	--

令和5年12月22日 小浜市議会議長 様

第3班 班長 杉本 和範

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	令和5年11月15日(水) 19:30~21:00		
会場/地区	今富コミュニティセンター		
出席議員	4班/池尾正彦、小澤長純、牧岡輝雄、世戸玉枝		
参加者(市民)	35名		
報告事項	司会・班長：池尾正彦 報告者：(定例会報告) 牧岡輝雄、(北陸新幹線について) 小澤長純 書記：世戸玉枝		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	北陸新幹線について、京都府内の一部住民が難色を示しているという。京都府としては新幹線の必要性を感じていないのではないか。京都府とはどのようなコミュニケーションをとっているのか。	【今後の対応】 回答どおり
	回答	京都府内の一部住民の反対もあって環境影響評価が遅れていたが、現在は順調に進んでいる。2、3年前に比べると大阪府や京都府での機運は盛り上がりを見せており、特に大阪府は知事を中心に前向きな取組を続けている。京都府もそれに近い形になりつつあると感じているので、市議会としても連携を続けていきたいと考えている。	
	質問	新幹線による経済効果、交流人口の拡大より、企業誘致や若者が小浜市で働ける場の確保が大切ではないか。	回答どおり
	回答	福井県が福井市、敦賀市および小浜市に産業団地を整備するため準備していると聞いている。	
	質問	新幹線開業によりマイナスの部分もあると思うが、議会はどう考えているのか。	回答どおり
	回答	新幹線全線開業による効果は大きいと考えており、人口流出対策等にも貢献していけるように取り組んでいく。	
	質問	全国的に人口減少が進む中、独自の施策によって人口が増えている自治体もある。人口対策について小浜市は危機感がないのではなか。	行政に伝える (回答は求めない)
	回答	市は何もしていないわけではなくて、あらゆる施策に取り組んでいる。そのようなご意見があったことは行政に伝える。	
質問	小浜市で増加している空き家の対策についてどう考えているのか。		

	回答	空き家になる前に法整備を急がなければいけない。国へ意見書を提出するなど、市議会として取り組んでいる。	回答どおり
	質問	斎場を早く整備をしてほしいが、状況は。	
	回答	斎場については、若狭広域行政事務組合が候補地を探していると聞いている。	回答どおり
	質問	議会報告会に地元の議員が来ていないのはなぜか。	
	回答	地元議員は地元のことはよく分かっていると思うので、最初は他の地区を回って様々なご意見を聞かせていただきたい。4年の任期があるので、任期中には必ず地元の報告会に参加することになっている。	回答どおり
	質問	北陸新幹線の環境影響評価について、京都府の一部で同意が得られないと聞いているが、状況はどうなっているのか。	
	回答	国交省からは、環境影響評価は進んでいると聞いている。市議会としては、令和7年度当初までに必ず着工するよう要望している。	回答どおり
	質問	子供の遊び場について、今富地区だけ人口が増えており、夕方4時になると、今富コミュニティセンターのホールがいっぱいになる。子供を預かってくれる所はあるが、学童保育に行く児童の多くもここに来る。いろいろな問題があるので、空き地や公園等、子供たちが事故なく、安全に過ごせる状況をつくっていただきたい。	
	回答	市も現状は把握しているので、対応について考えていきたい。	<u>行政に伝える</u> <u>(回答を求める)</u>

令和5年12月17日

小浜市議会議長 様

第4班 班長 池尾 正彦

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	令和5年11月22日(水) 19:30~21:00		
会場/地区	西津コミュニティセンター		
出席議員	1班/富永芳夫、池田英之、藤田靖人、東野浩和、浦谷梨華子		
参加者(市民)	13名		
報告事項	司会・班長：藤田靖人 報告者：(定例会報告) 浦谷梨華子、(北陸新幹線について) 富永芳夫 書記：東野浩和		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	北陸新幹線について、新駅が出来るとしたら、どの辺になるのか。	【今後の対応】 回答どおり
	回答	東小浜付近と言われているが、環境影響評価が終わらないと詳細な新駅の位置は公表されないので、現時点では確定していない。	
	質問	全線開業による効果の説明があったが、交流圏の拡大と経済効果において、かなりの人流と物流が生まれてくると思うが、議会のほうでその受皿の整備についての構想はあるのか。	回答どおり
	回答	全線開業まで15年~20年の期間が想定される中、議会において構想を持っているわけではないが、市では3年ほど前に新まちづくり構想を策定し、その概要版を全世帯に配布しているので、ぜひご覧いただきたい。	
	質問	米原ルートの可能性、残土処分の問題、企業誘致の件について市長部局から何か聞いているのか。	回答どおり
	回答	運営会社であるJR西日本が小浜・京都ルート以外にないと判断しており、米原ルートになることは絶対はない。残土問題については、地質上の問題なども含め、計画を立てる必要がある、まだまだ今後の段階である。企業誘致については、新幹線開業後は通勤・通学の圏内となる構想も含めた上で、現在県営産業団地を造成する計画が進んでいる。	
	質問	新幹線開業後、新駅にはどれくらいの頻度で列車が停車するか分かっているか。	回答どおり
	回答	現時点では分からないが、他の類似地域の状況を見ると、1時間に1本、通勤時間帯においては2本程度と想定する。	
質問	時間短縮効果において、小浜・京都間が19分、小浜・新大		

	<p>阪間が 38 分となっているが、間違いなくこの時間で行けるのか。</p> <p>回答 これは国交省が出している所要時間であり、間違いないと考える。</p>	回答どおり
	<p>質問 運転免許証の返納について市からよく広報されているが、公共交通機関の現状を見ると実態にそぐわないように感じる。そういった中で、デマンド交通のことが書かれているが、今どのような方向性になっているのか。</p> <p>回答 市の実証実験の結果を踏まえた方向性がまだ議会側に示されておらず、その報告を待っている状況である。</p>	<u>行政に伝える</u> <u>(回答を求める)</u>
	<p>質問 公共交通について、議会としてどう考えているのか。</p> <p>回答 公共交通整備については多額の財政支出が必要であり、簡単なことではないが、現状を見ると効率よくやっているとは言いがたい。まだ議会の中では出ていないが、今後の協議、議論を進めていく上では、ライドシェアの選択肢が出てくるのではないかと。</p>	回答どおり
	<p>質問 人魚の浜から小浜公園までの道路沿いに雑草が生い茂り、ひどい状況となっているが、その対応はどこでするのか。</p> <p>回答 県の管轄になっており、地元では県の了解を得て、時々清掃作業をしているが、すぐにまた生える状況である。</p>	<u>行政に伝える</u> <u>(回答を求める)</u>
	<p>質問 エンゼルラインについて、最近バイクのツーリング利用者がかなりいると思うが、観光の一つとして美しい眺望を生かした整備や工夫などの計画はないのか。</p> <p>回答 嶺南振興局も協力的な姿勢を示してくれている。水道整備などの抜本的な課題もあるようだが、市の考えや方向性を聞くことにする。</p>	<u>行政に伝える</u> <u>(回答を求める)</u>
	<p>質問 カーブミラーについて、以前に要望したが放置されている。どこに問い合わせればよいのか。</p> <p>回答 担当は都市整備課になるが、要望については、やはり区長要望という形で書面をもって要望することをお勧めする。</p>	<u>行政に伝える</u> <u>(回答を求める)</u>

令和 5 年 12 月 22 日

小浜市議会議長 様

第 1 班 班長 藤田 靖人

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	令和5年11月22日(水) 19:30~21:00		
会場/地区	口名田コミュニティセンター		
出席議員	2班/下中雅之、竹本雅之、川代雅和、佐野達也		
参加者(市民)	13名		
報告事項	司会・班長：竹本雅之 報告者：(定例会報告)川代雅和、(北陸新幹線について)下中雅之 書記：佐野達也		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	資料2によると、生活の支援拡充に9,571万円の予算が計上されている。住民税非課税世帯ということで我々は対象外だが、物価高騰で生活が厳しいので我々に対しての支援はないのか。	【今後の対応】 行政に伝える (回答は求めない)
	回答	これは国の施策であり、市は今後「おばまチケット」の発行を検討している。支援の要望があったことは市に伝える。	
	質問	新幹線は、環境アセスメント調査で京都府内の一部で反対運動があり、また滋賀県米原ルートの話も持ち上がってきている報道を見るが、実際はどうか。	回答どおり
	回答	京都府内の環境影響調査は順調に進んでいる。工事認可前に調査費として12億3,500万円つき、調査も前倒しで進んでいる。北陸新幹線は東海道新幹線の代替機能として重要であり、国土強靱化を図るためにも小浜ルートで、大阪乗り入れが必要である。ルートの変更はない。	
	質問	「道の駅若狭おばま」にもっと多くの人に来るように各所に看板を設置してはどうか。また、県道小浜上中線の車線が減る箇所事故が起きやすく危ないので、案内看板が必要ではないか。	行政に伝える (回答は求めない)
	回答	道の駅は今春リニューアルした際に看板の見直しなどをして各所に設置し増やしたが、更に看板などを増設しPRするように伝える。	
	質問	この地域は中山間地域で小規模農家が多く、10年もたてば作り手も減って耕作放棄地になっていく。小浜市は大規模農業法人への支援はするが、我々小規模な農家をどのように守ってくれるのか。また農業を収益と考えずに景観形成と捉えて守ることはできないか。このことを議会で検討したことはあるのか。	

	回答	議会で検討したことはない。各地で農業の新しい取組は行われているが、小規模となると難しい。現在、多面的機能の支払交付金事業や、中山間地域の直接支払交付金事業があるので、有効に活用していただきたい。	<u>行政に伝える</u> <u>(回答を求める)</u>
	質問	市議会議員選挙や無投票当選について、どのように捉えているのか。	
	回答	今回は定数を18名から17名に減らしたが、選挙戦にならなかった。市議会議員になりたいという若い人の立候補が少ないのだと思う。子育てしていく上で報酬は十分ではなく、議員年金制度も今はない。生活していくには厳しく、4年先は保証されていないことも起因していると考えられる。若い人は政治に関心を持ち、小浜市のために何か役に立ちたいという思いを持っていただきたい。	回答どおり
	質問	小浜市は財政が安定しているのか。	
	回答	市は中長期的に財政計画を立てており、財政は潤沢とは言えないが、適正に運営されている。	回答どおり
	質問	結婚しない若者が増えている。婚期を逃している人が多いように思うが、何か対策はしているのか。	
	回答	小浜市では「OBAMAで愛、実行委員会」が婚活事業を進めている。今年の夏にはバスで近江八幡へ行き、数組のカップルが成立した。また、12月にはクリスマス婚活パーティーがある。	回答どおり
	質問	地区の消防団では、操法大会に参加することが負担で、団員のなり手が不足している。操法大会の開催をやめることはできないか。また、区長が練習時に激励に行くことの負担も大きい。	
	回答	操法訓練や規律訓練は、消防団の基本である。消防団員が減少していることは認識しているが、時代に合わせて続けていくことが大事である。大会の縮小や中止は、広域で考えていかなければならない。区長が関与しない区もあり、区長の負担については各区の考え方による。	回答どおり
	質問	企業誘致で小浜に定住者を増やすことは良いが、小浜に帰って就職してもらうことが一番大事ではないか。	
	回答	企業誘致でIターン者が増加することは大事だが、Uターン者が一番大事である。北陸新幹線が全線開通すると、京	回答どおり

		都へ通うこともできる。そうすると、京都から移住する方も増えると思われるので、一日も早く北陸新幹線全線開通を実現したい。議会は全力で取り組んでいく。	
--	--	---	--

令和5年12月25日 小浜市議会議長 様

第2班 班長 竹本 雅之

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	令和5年11月22日(水) 19:30~21:00		
会場/地区	宮川コミュニティセンター		
出席議員	3班/今井伸治、岡泰宏、杉本和範、上野一		
参加者(市民)	21名		
報告事項	<p>司会・班長：杉本和範 報告者：(定例会報告) 上野一、(北陸新幹線について) 今井伸治 書記：上野一、杉本和範</p>		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	北陸新幹線に関して多方面から情報が入ってくるが、国に直接要望すべきではないか。小浜・京都ルートに関係する京都府内や小浜市の住民に周知できるような発信も必要だと思うが、どうか。	【今後の対応】 回答どおり
	回答	市民に対する開業効果は、市長も発信しており、議員も一般質問や議会だより等でお伝えしている。また、京都としてもメリットがある話で、北陸地域、信州地域とつながる。大阪においては、東海道新幹線、山陽新幹線、そして北陸新幹線とつながれば、3本のハブ機能を新大阪が持つことになり、関西にとっては非常にプラスだということを徐々に理解し始めている。京都市会とも情報交換している。商工会議所等、皆さんそれぞれができる範囲で機運を高めていくことが大事なので、よろしくお願ひしたい。	
	質問	京都市長選挙が令和6年にあるが、そのことによりルートの確定が難航するのか。	回答どおり
	回答	選挙結果がどうであれ、小浜・京都ルートは国としての決定事項であり、京都駅から京田辺駅、そして新大阪駅へと決まっている。国の責任として推し進めていくものと考えている。	
	質問	環境影響評価は、現況で問題点があるのか。湧水や地下水の問題もあるのか。	回答どおり
	回答	環境影響評価は、全ての地域で進んでいる。問題があるとは聞いていない。地下水についてはまだ詳しい評価結果は示されていない。京都・新大阪では大深度地下工事が検討されており、費用はかかるが、今の日本の技術をもってすれば可能であると聞いている。環境影響評価は、今4段階のうち2段階目に入っているため、残り2段階の評価を早くまとめてほしいと要望している。	

	<p>質問</p> <p>回答</p> <p>質問</p> <p>回答</p>	<p>意見書では「令和7年度当初までに着工」ということだが、駅が決まらなければ、市としてもなかなかまちづくりが進められないのではないかと。今の段階でのビジョンがあれば教えてほしい。</p> <p>駅の位置は大きな範囲でしか示されていない。東小浜駅より小浜寄りになるかと思う。まちづくりに参加し、基本的に議会が主導権を握るようなことはしていないが、理事者と力を合わせて知恵を出していきたい。</p> <p>もう一つは時間の問題。金沢から敦賀までの開業に15年かかっている。ここから京都まで全線開業には15年かかるのかというと、お金をかければもっと早くできる。国に対して財源を確保するよう強く要望していく。</p> <p>市内でボーリング調査はされているのか。</p> <p>調査されている。京都も一部の反対で遅れていたが、それも順調で、問題ないと聞いている。</p>	<p>回答どおり</p> <p>回答どおり</p>
--	---	--	---------------------------

令和5年12月22日

小浜市議会議長 様

第3班 班長 杉本 和範

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	令和5年11月22日(水) 19:30~21:00		
会場/地区	松永コミュニティセンター		
出席議員	4班/池尾正彦、小澤長純、牧岡輝雄、世戸玉枝		
参加者(市民)	19名		
報告事項	司会・班長：池尾正彦 報告者：(定例会報告) 牧岡輝雄 (北陸新幹線について) 小澤長純 書記：世戸玉枝		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	北陸新幹線について、京都府では地下水の問題があり、石川県では米原ルートを望む話もあり、小浜には来ないので心配するが、どうか。	【今後の対応】 回答どおり
	回答	北陸新幹線については、認可後に行う調査を現在前倒しで行っており前に進んでいると理解している。JR西日本も小浜・京都ルートをサポートしており、米原ルートでは大規模災害時に東海道新幹線の代替機能が発揮できない。県選出の国会議員からも「米原ルートはない」という返事をもらっている。	
	質問	平野に県の産業団地が出来ると聞いている。道路の整備については十分考慮してほしい。	行政に伝える (回答は求めない)
	回答	県営産業団地については、市のまちづくりとも関係があるので、ご意見は行政に伝える。	
	質問	新幹線が来ることで人口が増えるとは思えない。独自のやり方で人口が増えている自治体がある。人口減少は待たないで、若い人たちをどうやって取り込んでいくかが大事だと思うが、どうか。	行政に伝える (回答は求めない)
	回答	京都まで19分となり、通勤・通学圏内となることで小浜市への移住・定住の促進が期待されるなど、画期的に状況が変わると思うので、人口減少の歯止めをしたい。	
	質問	新駅周辺のまちづくり計画は具体的に何かあるのか。	回答どおり
	回答	具体的な話はまだ聞いていない。	
質問	新幹線については、小浜・京都ルート決定で盛り上がったが、嶺北の動きが鈍いのでは。	回答どおり	
回答	京都・新大阪につながれば、乗り換えなく嶺北へも行き来できるので、しっかり準備をしていると思う。		

	<p>質問</p> <p>回答</p> <p>質問</p> <p>回答</p>	<p>災害復旧について、地籍調査が実施されていると境界や土地の所有者の明確化が図られ、早く復旧できると思うが、どうか。</p> <p>令和5年度の当初予算で地籍調査準備事業の予算を計上しており、担当者の育成と調査業務の両方で進めていくと聞いている。</p> <p>高速道路建設時のうたい文句として、交流人口が増え、まちの発展につながるとのことだったが、結果として過疎になったまちもある。新幹線の駅が出来ても日本一乗降客の少ない駅にならないよう、人口を増やすということを真剣に考えてほしい。</p> <p>新幹線整備は新幹線の乗り降りだけではない。それを常に考えていかなければならないということを我々も分かっており、理事者にも伝える。</p>	<p>回答どおり</p> <p>行政に伝える (回答を求めない)</p>
--	---	--	--

令和5年12月17日

小浜市議会議長 様

第4班 班長 池尾 正彦